

報告 1 平成 28 年度の利用状況について

1. ふれあいバスの利用者推移

平成 28 年度(平成 27 年 10 月～平成 28 年 9 月)において、ふれあいバス利用者は 189,632 人であり、前年度の 161,990 人と比較して 20,000 人以上の利用増となった。

月別で見ると、再編前よりも全ての月で利用は増えている一方、冬季の利用が落ち込む傾向にある。

路線別で見ると、鵜沼線、蘇原線、稲羽線の利用者数が多くなっている。
各路線の割合については、年間を通して大きな変動は見られない。

図 1 月別利用者数の比較

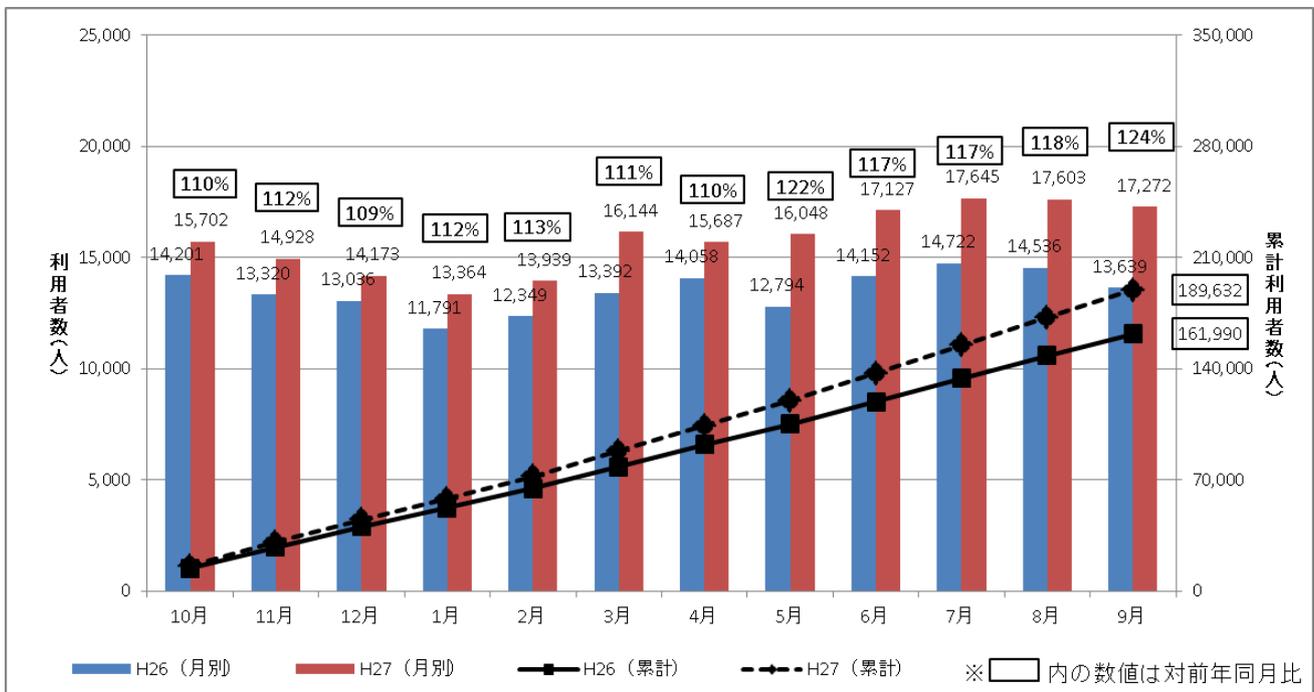
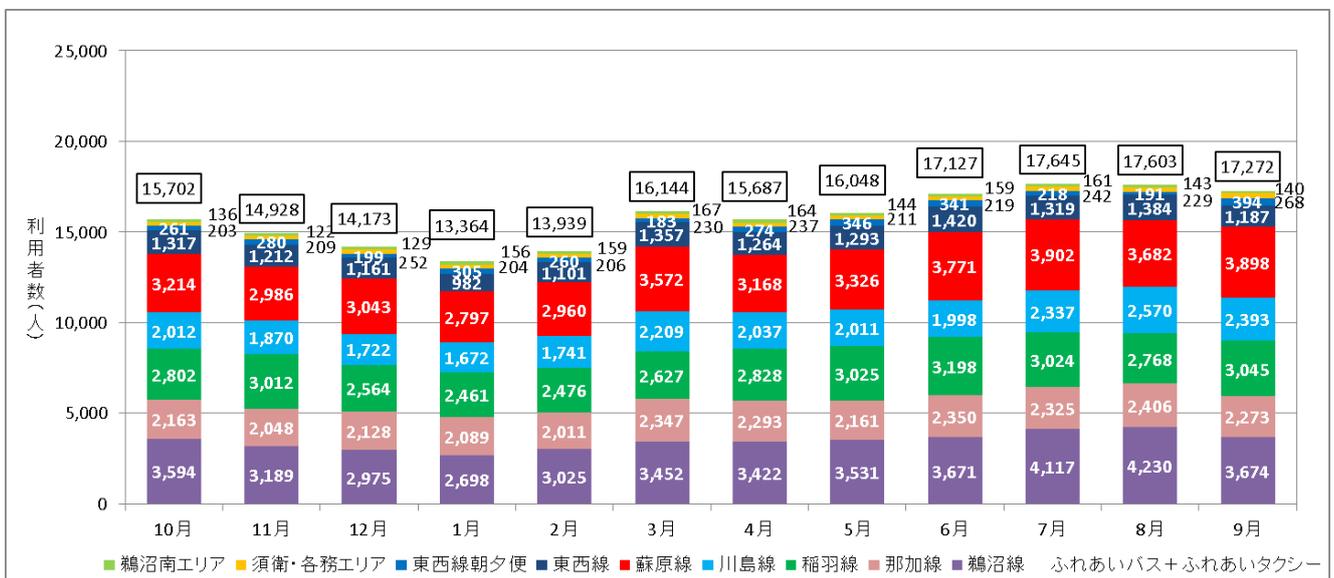


図 2 路線別利用者数



2. ふれあいバス各路線の利用状況

1便当たりの利用者数は、川島線が平日、休日とも1便当たりの利用者数が増加傾向にある。

平日は、多くの路線が6.0人～8.0人を推移する一方、東西線朝夕便は年間のほとんどが2.0人～4.0人程度となっており、乗合率の低い路線となっている。

休日は、平日と比較してどの路線も1便当たりの利用者数は減少している。

図3 1便当たりの利用者数

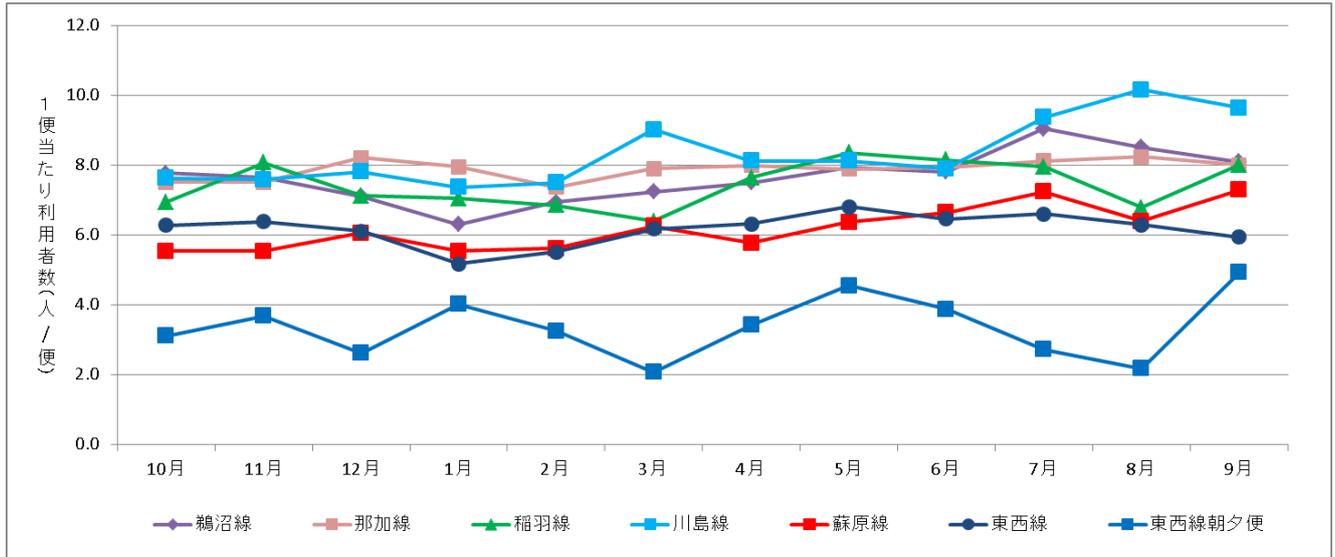


図3 1便当たりの利用者数

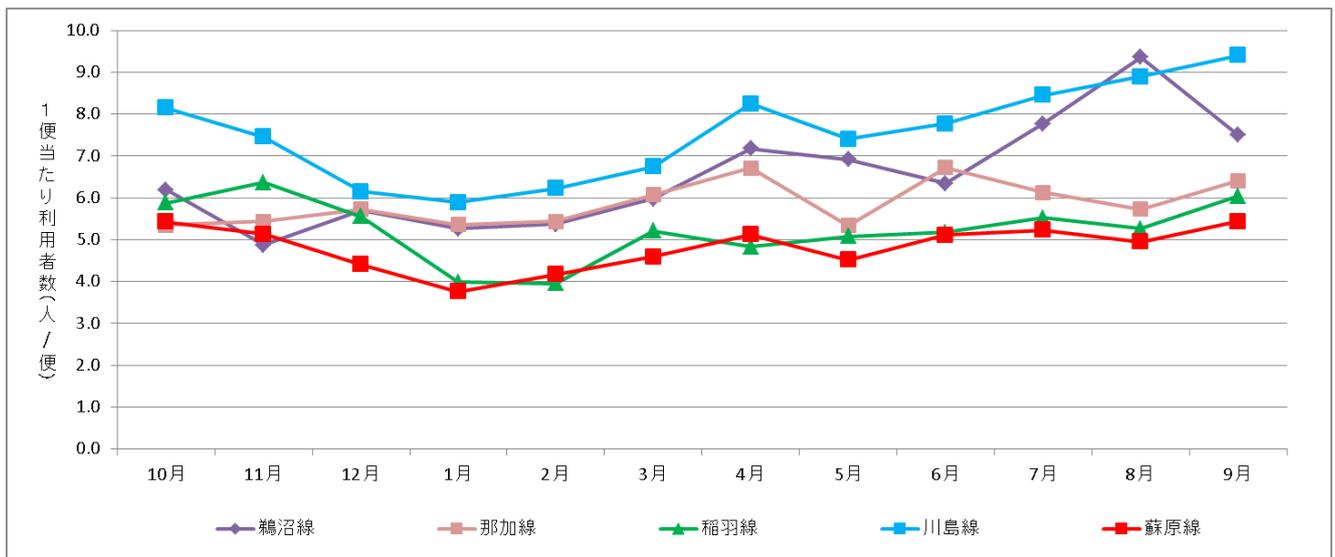
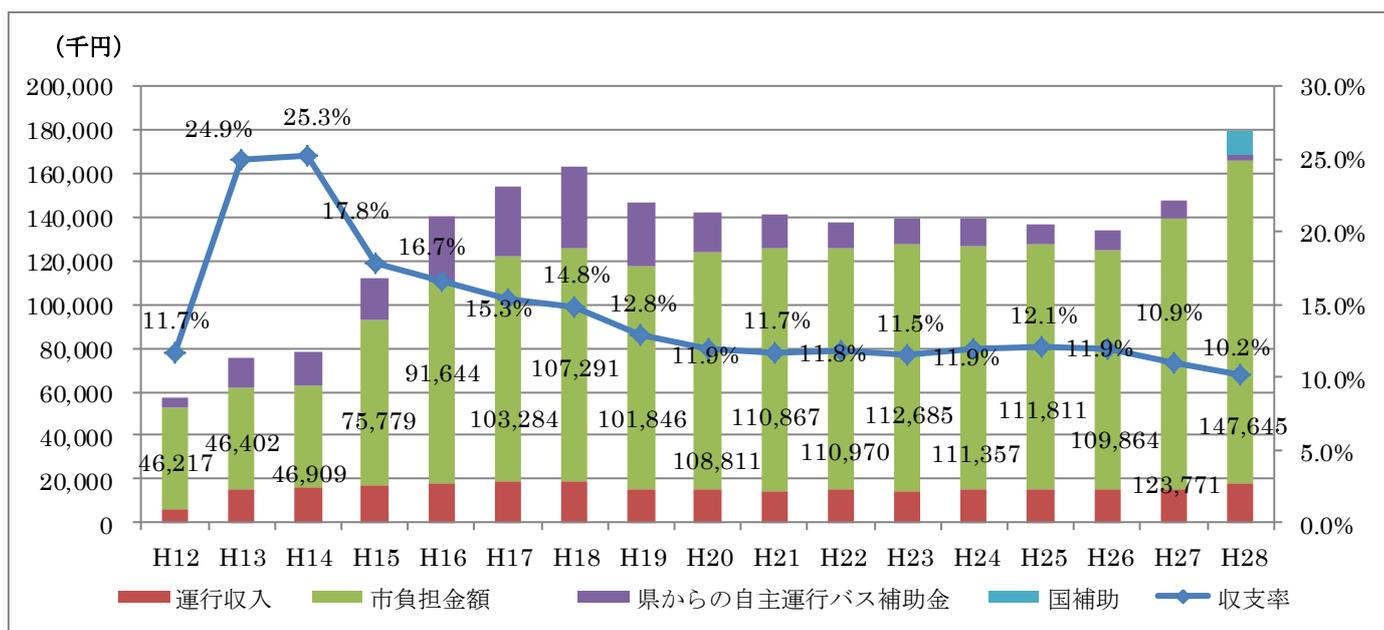


図4 運行負担金について



運行収入 : 18,314 千円 (收支率 10.2%)

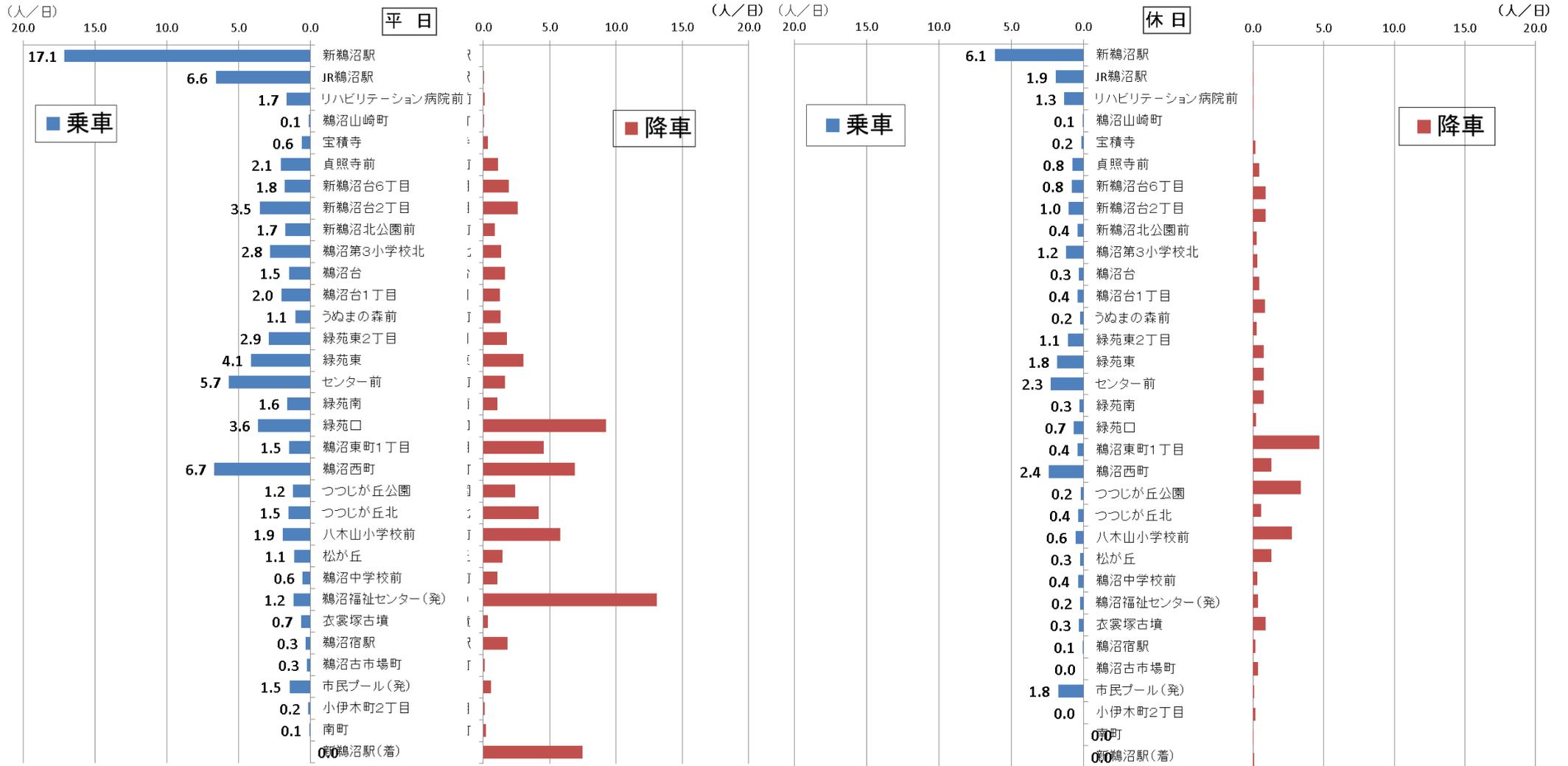
市運行負担金 : 147,645 千円

国補助金 : 10,711 千円

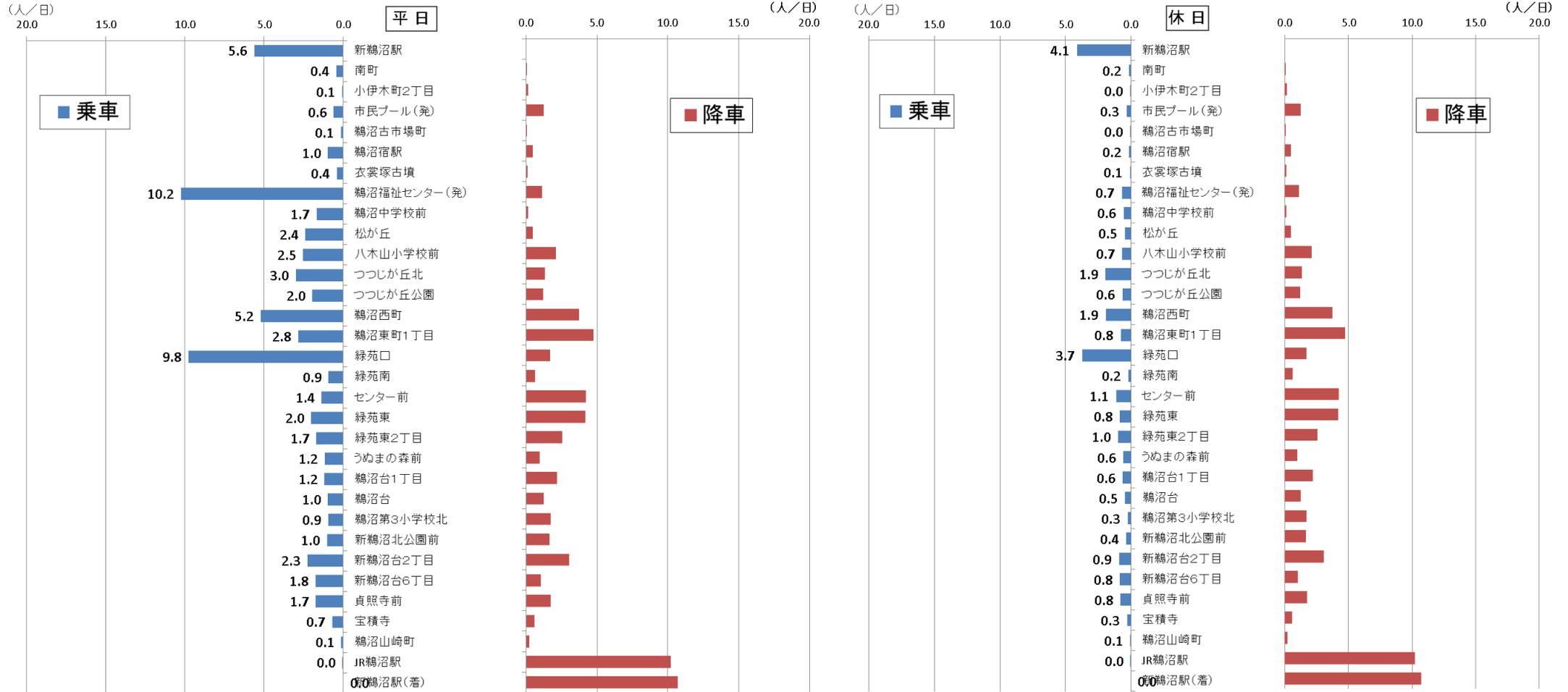
県補助金 : 2,765 千円

計 : 179,435 千円

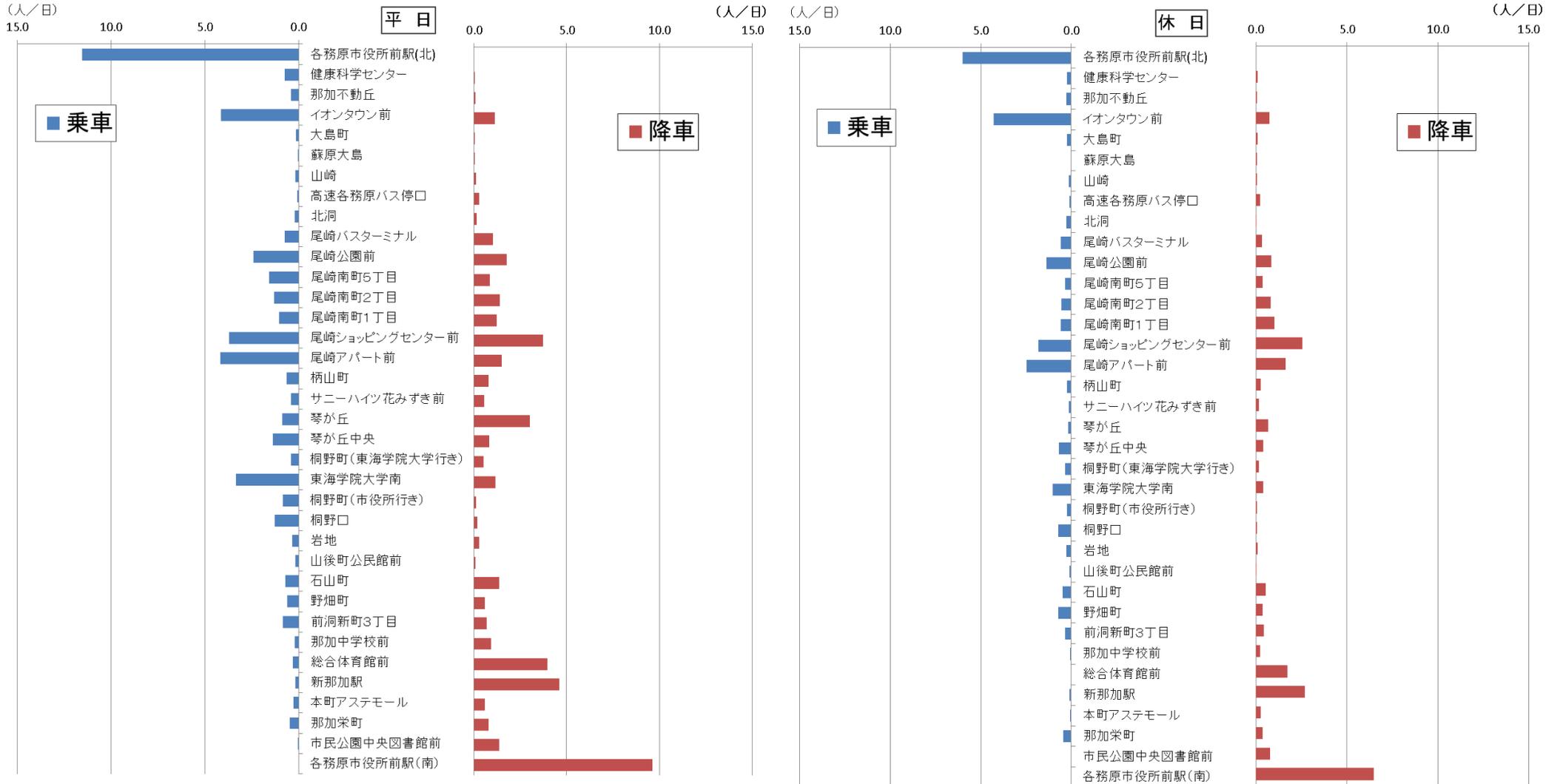
3. 路線系統別・停留所ごとの乗降人数 鵜沼線左回り



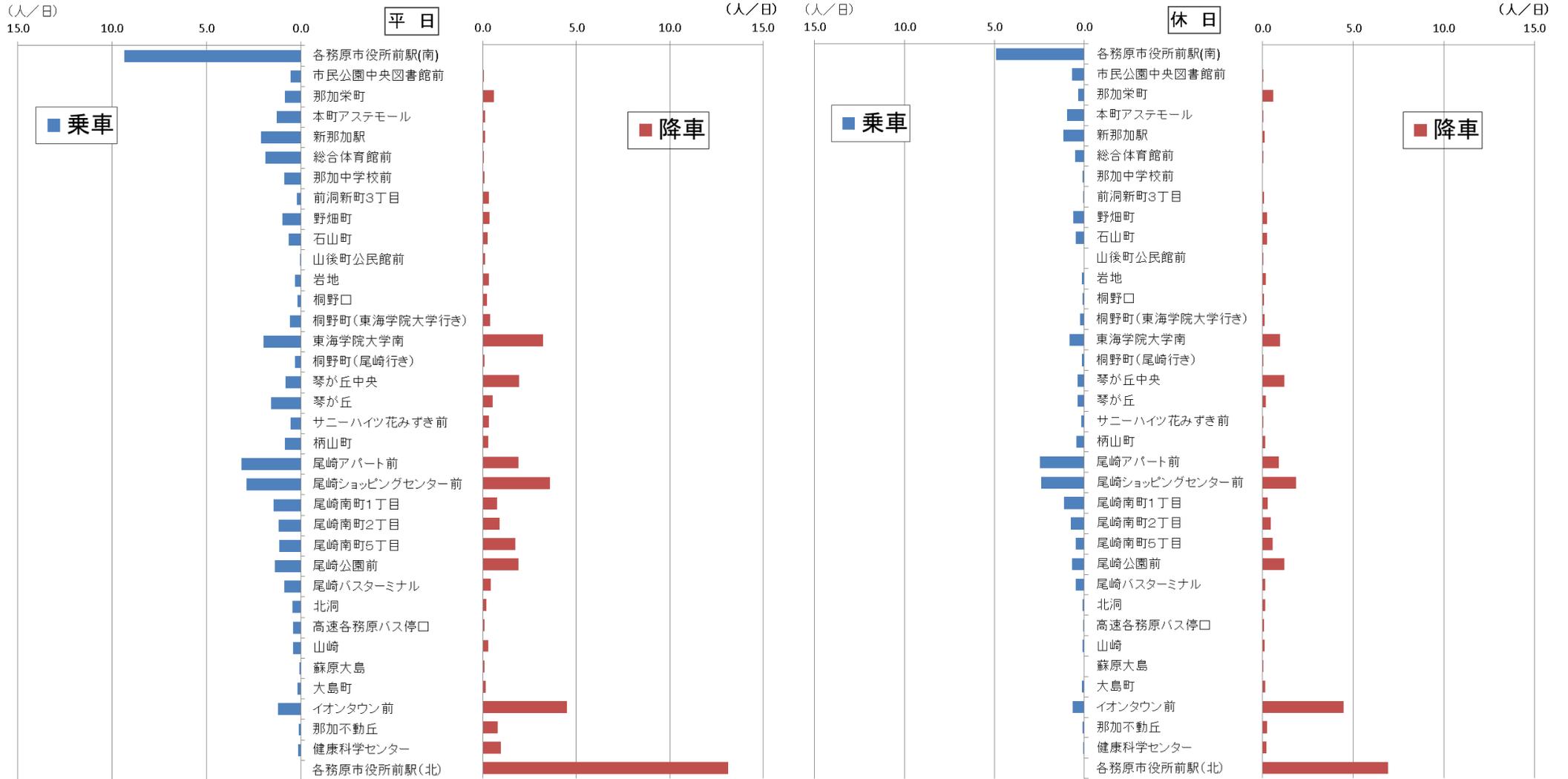
鵜沼線右回り



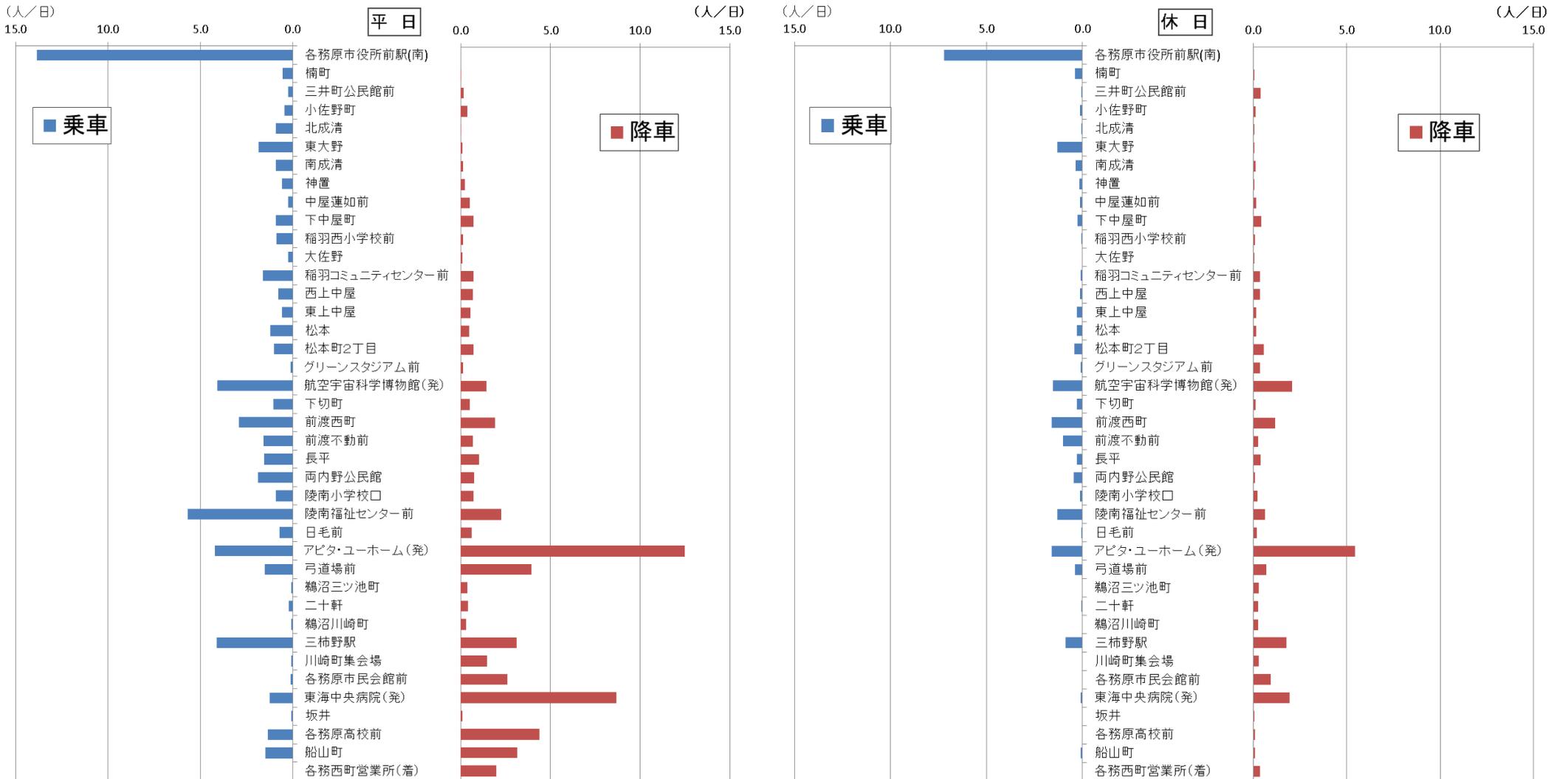
那加線左回り



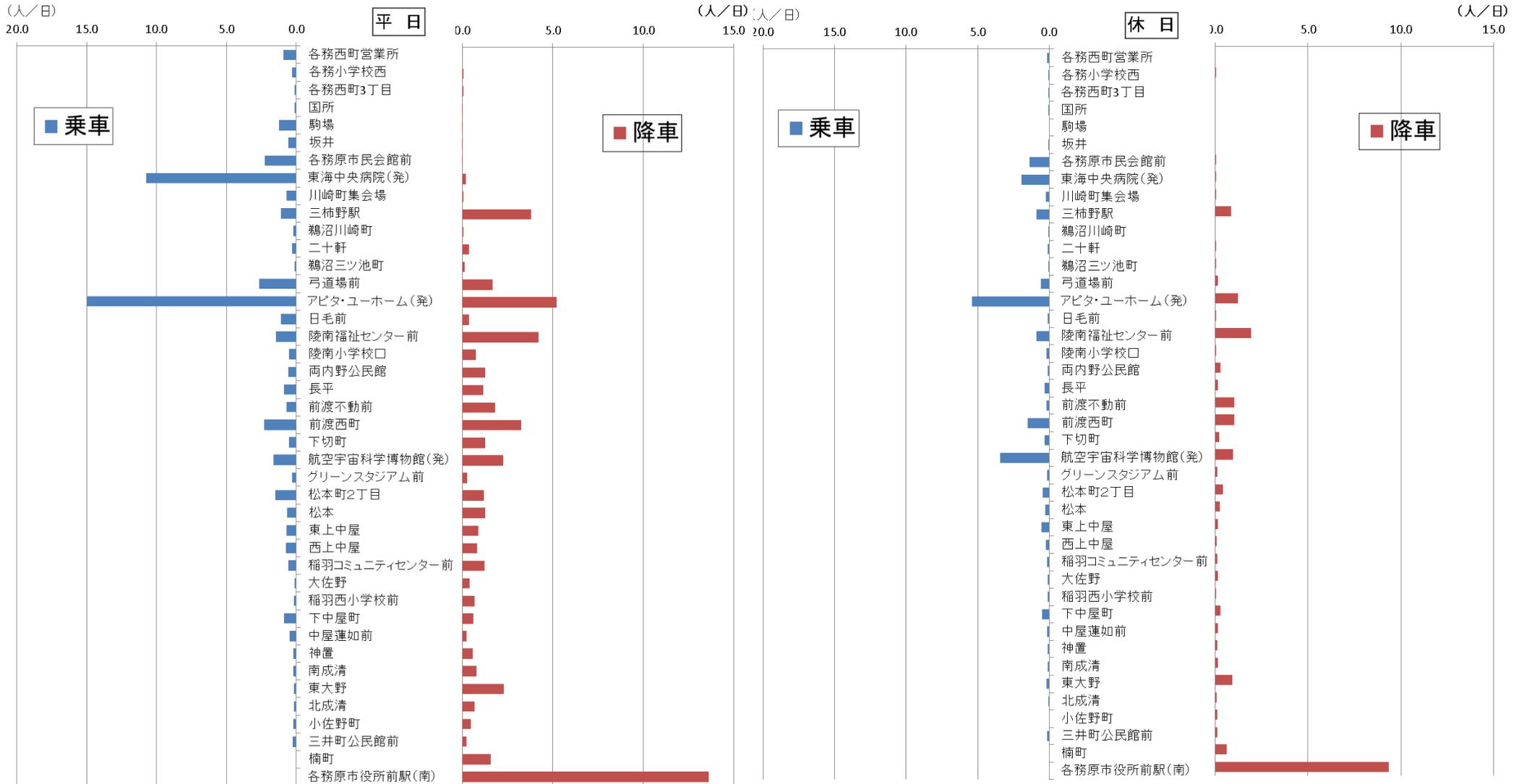
那加線右回り



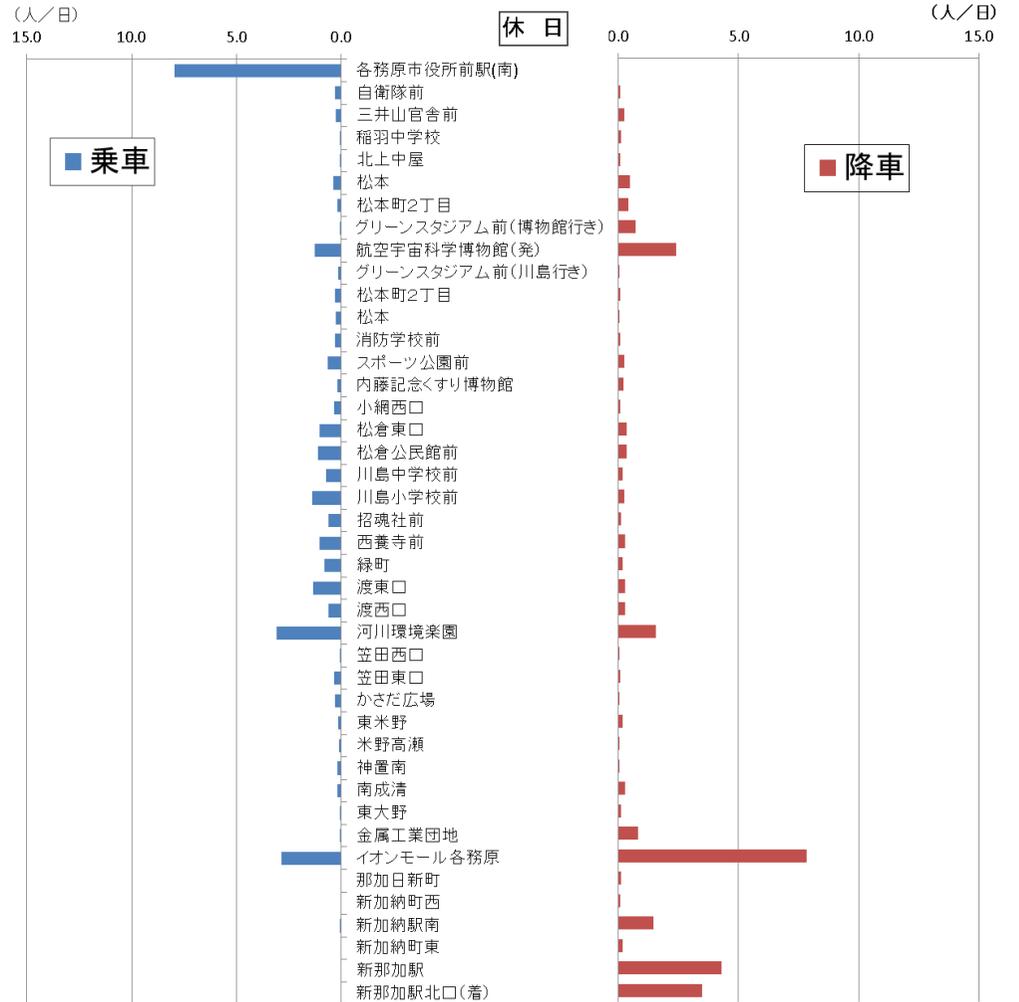
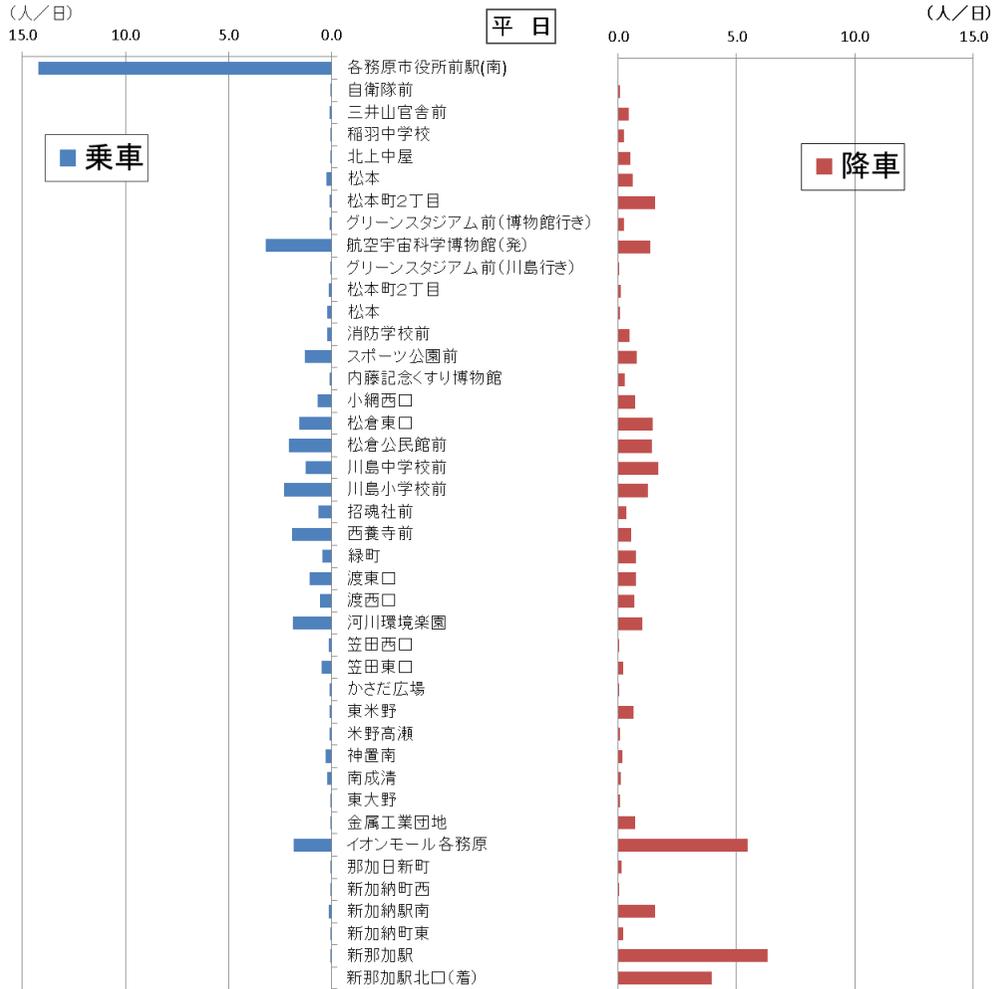
稲羽線各務西町営業所方面行



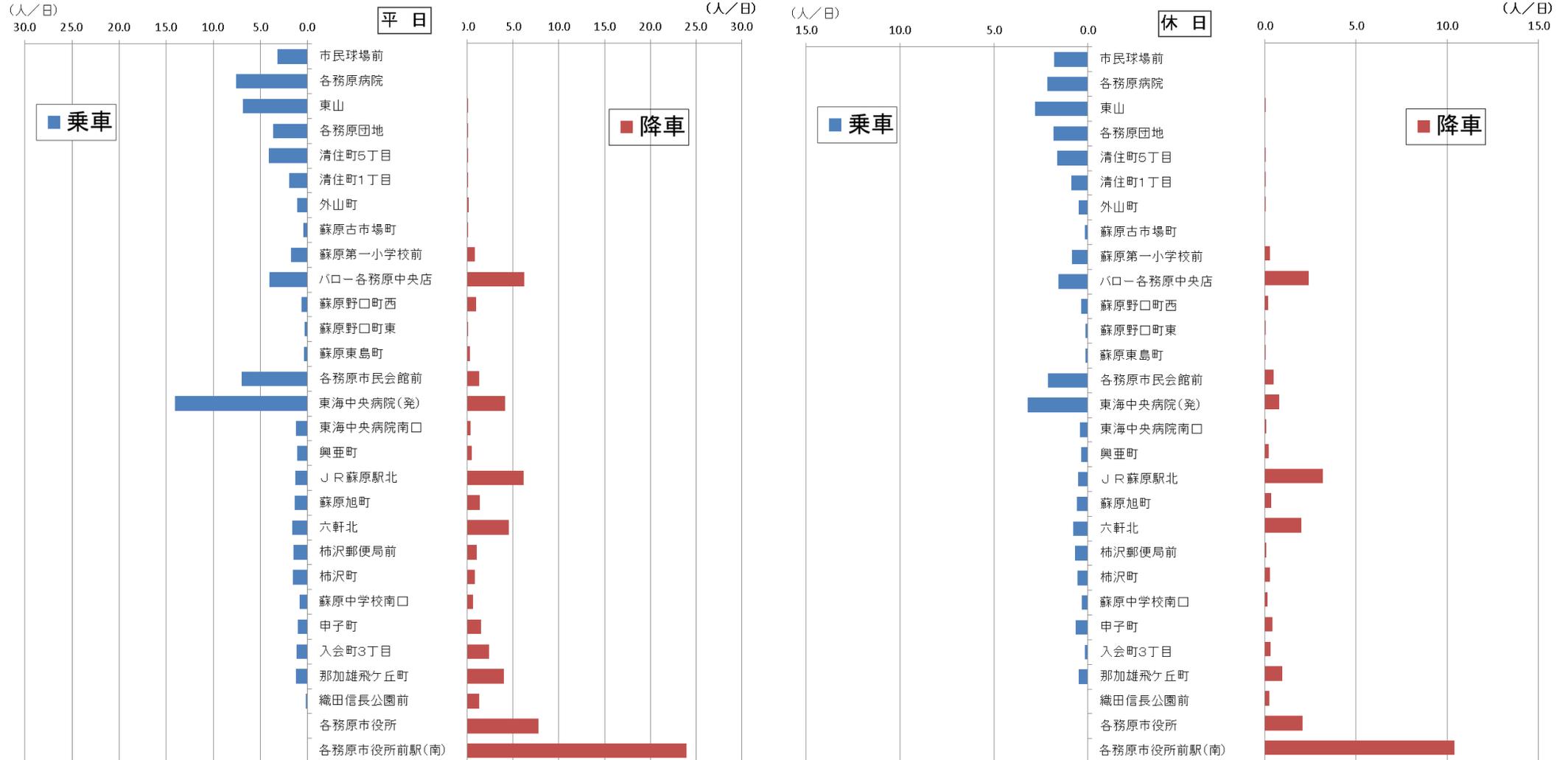
稲羽線各務原市役所方面行



川島線新那加駅方面行

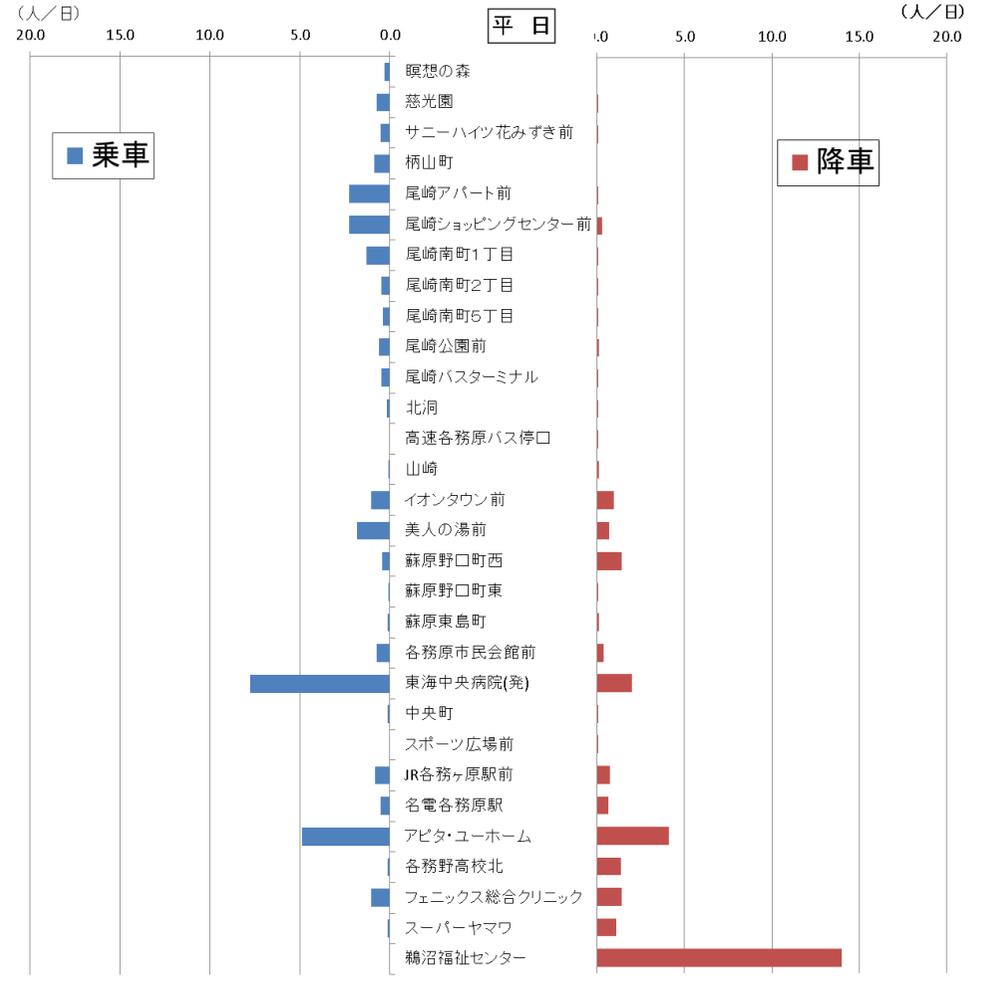
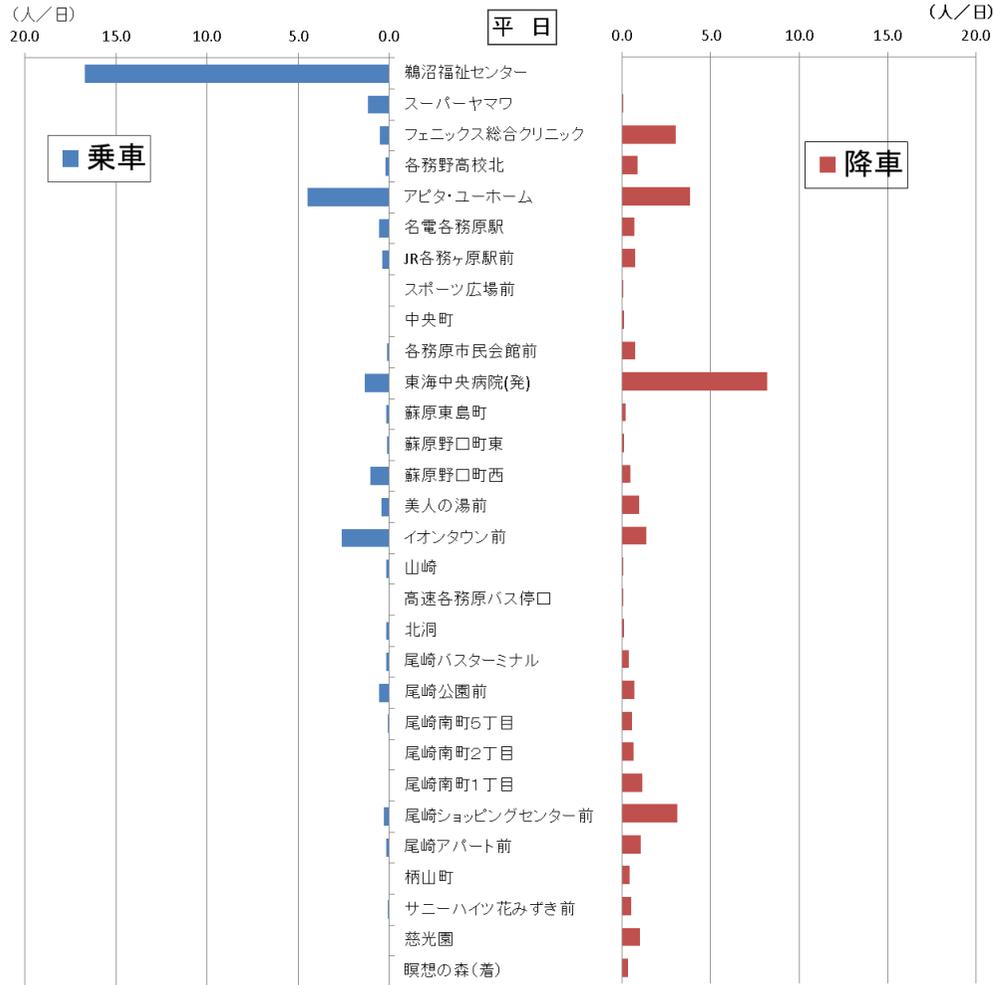


蘇原線各務原市役所行



東西線（平日のみ）

（左：瞑想の森行 右：鶺沼福祉センター行）



東西線朝夕便（平日のみ）

（左：各務西町営業所行 右：新鵜沼駅行）

